

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	どっぽ就労塾日進		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 15日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	きめ細かい連絡帳の作成。	活動中での利用者さんの言動や状況を文章と写真で具体的に記すようにしています。 就労の目線から見た課題を書きますが、親御様が前向きに捉えられるように、「難しかった」で終わりにせず次のアプローチやその中で出来ていたことを記すようにしています。	文章よりも動画を送った方が伝わる場合があるので、職員負担を考慮しつつ取り入れていきたいです。
2	障害度合いを問わない柔軟なプログラム構成。	7つの基本プログラムがありますが、個別にやり方を考えます。字を読むのが苦手な方には写真をつける、何かを握るのが難しい方が治具を作る等して、誰でも就労体験が出来るように工夫しています。	当施設の内職は紙加工がメインになりますが、力加減が苦手な方が参加しにくい現状があります。紙加工以外の内職を検討していきたいです。
3	中高生が集まるデイサービス。	放課後等デイサービスは小学生をメインで受け入れる施設が多い中、当施設は8割高校生が在席しています。いろいろな学校の同じ年代の仲間と活動して刺激を受ける環境があります。	お客様のターゲット層を広くすると、プログラムの内容がぼやけてしまうことがあります。当施設は引き続き中高生向けのプログラムを深掘りしていこうと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	企業との職業体験の場の提供。	職業体験を受け入れをしている企業の開拓が進んでいない。	日々の業務でこの課題に取り組めていないのが現状。業務をスリム化して、企業とのコラボイベント等を企画していきたい。
2	預かりニーズへの対応。	職員配置や職員の業務過多。	国からは預かりニーズへの対応を求められているが、現状変わっていない。臨時休校の際に朝から開所する等検討していきます。
3	職員研修の充実。	研修時間確保の難しさ。	今回のアンケート結果から緊急時の対応など職員が不安を持っていることがわかりました。特にパート職員は時間の制約上研修が受けにくい現状があるが、緊急の際は対応を求められてしまいます。この問題も業務の効率化やシフト調整を行いパート職員も安心して働ける研修の充実を図っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どんぼ就労塾日進

公表日 2025年3月10日

利用児童数 38名

回収数 37名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	3				制度で決められた面積はクリアしておりますが、利用人数が多いと狭く感じるかもしれません。利用人数が多い時は、部屋を分ける、障害物を倉庫にしまう等工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	5		2		当施設はビル3階（エレベーター無し）のため、ご不便をおかけしております。階段を昇降の際にご不安がある方は、職員が付き添いますので、気軽にご相談ください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	2				引き続き職員研修等で専門性を高めるよう努力致します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35			2		プログラムについてはホームページ上で詳しく説明しております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	6	8	16	他と活動する必要性を感じない。	現状、地域の子供たちと交流する機会はありません。他の放デイとの交流イベントは検討中です。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33			4		毎年11月の保護者向け講座を開催しております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1				

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	6	19		今のところ予定はありませんが、要望が多ければ検討致します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	2		2		モニタリング面談とは別に、進路や困りごとの相談を随時受け付けております。その際は家族支援加算（109円/回）が算定されます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	1		3		ホームページ上でイベントの様子やお知らせを随時アップしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33			4		毎年春（4月）と秋（10月）に避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35			2		安全計画を立て送迎車の安全点検、てんかん・アナフィラキシー対応等を計画に沿って行っております。保護者様には契約時に周知しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1		3	事故がない。 怪我をしたことがない。	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	2		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	1				
そ の 他	30	ご意見・感想など	迎えが可能になると通所回数も増えそう。			ご不便をおかけして申し訳ございません。現在、送迎は送迎車が2台（4人乗り・7人乗り）当施設から半径6キロ以内となっておりますが、出来る限り対応するよう心掛けておりますので、気軽にご相談ください。		
			いつも子供の状態に合わせた支援をして下さりありがとうございます。毎回同じ事を同じようにトレーニングするのではなく、他の利用者さんとの共同作業や、スタッフさんのお手伝いなど色々な角度からご指導いただき、また連絡帳にて詳しくご報告いただけるので様子が良く分かります。ありがとうございます。			ありがとうございます！ 基本的には個別支援計画に沿ってプログラムを設定するようにしております。その目標を達成するためにいろいろなプログラムを使ってアプローチしていきます。その中で本人の強みや課題が見えてくるので、次の個別支援計画に繋がっていきます。連絡帳については、親御さんに職員の意図やイメージを的確に伝えることを意識しています。		
			大変お世話になっております。子どもの気持ちに寄り添いながら、工夫をしていただきありがとうございます。今後もよろしくお願ひいたします。			ありがとうございます！ 良く行う工夫は仕事の切り分けです。仕事を細分化することで出来なかった仕事が出来ようになることがよくあります。出来ることと子ども達の表情が生き生きとしてきます。		
			12月後半から通所したばかりで避難訓練や保護者会のようなもの等はわからないのですが、毎回の活動報告を詳細にさせていただき、細かい言動まで見て支援いただいていることがとても良くわかります。本人も親も安心して通所でき、大変感謝しております。			ありがとうございます！ ステップアップのために少し苦手としている部分にアプローチすることもあります。その際、本人の様子や言動を丁寧に連絡帳に記すことで虐待を防ぎ、支援の透明性を担保しています。また職員も日々迷いながら、試行錯誤しながら支援を組み立てておりますので、良いアイデアやご意見がありましたら是非教えて頂ければと思います。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		職員数 7名 回収数 7名					公表日 2025年 3月 10日	
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	その他	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	6	1			
	2	5	2				基本的に4人の職員を配置しており、制度基準は満たしておりますが、10名を超える利用者が来る日は、少なく感じるかもしれません。濃い支援が必要な利用者がある際は5人配置することもあります。	
	3	1	4	1		外階段が危ない。	当施設はビル3階でエレベーター無しのため階段での上り下りが発生します。歩行に不安がある方は、職員が付き添うようにしています。また、手すりの声掛け、雨の日は滑りやすいので注意喚起を行っています。冬場の帰宅時、足元が暗いのでセンサーライトを設置しています。	
	4	4	3					具体的にどの部分が気になっているのか聞き取り改善を図っていきます。
	5	6	1					
業務改善	6	6		1				
	7	5	1		1			
	8	7						社員、パート隔たりなく意見を聞くようにしていますが、パート職員は時間の制約上話す時間が少ないのが現状です。パート職員と話す時間を確保することを検討していきます。
	9	1	1	1	4			第三者による外部評価の実績はございませんが、今後検討していきます。
	10	6		1				
適切な支援の提供	11	5	2				当施設ホームページ、パンフレット、チラシ等で公表されています。	
	12	6	1				半年に1度、保護者と本人と3者面談を行い計画を立てています。	
	13	6	1				パート職員を含めた日々の振り返りのデータをもとに社員で検討会議を行い計画を立案しています。	
	14	6	1				個別支援計画は各利用者のケース記録、アセスメント表に挟んであります。時間がある際に目を通すようお願い致します。	
	15	5	1		1			現在、標準化されたツールはございませんが日々の連絡帳から本人の行動をAIが総合的にまとめる機能を使用しています。
	16	5	1		1		個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目が含まれています。	改めて振り返ると計画が抽象的であったり、何を持って達成とするのかがわかりにくいものも受け付けられました。目的を絞り具体的な計画（本人も理解できる）を心がけます。
	17	6	1				パート職員、社員、分け隔てなく良いアイデアは形にしています。	
	18	4	3				7つのプログラムを個別支援計画に沿って設定するようにしています。	どちらともいえないが3名いることはマンネリ感があるのかもしれません。聞き取りをしながら改善を図っていきます。
	19	6	1					
	20	2	3			・個別の目標確認で今の個々の課題がわかる ・非常勤の方とは十分に打ち合わせの時間が取れないこともあります。	パート職員は時間の制約がある中での支援になるので、情報共有の難しさがあります。毎日必ず目を通す、利用者の成果票に個別支援計画を基にしたそれぞれの目標を挟むようにしました。職員はその目標を基に支援を考えます。	パート職員にどのような打ち合わせがしたいか聞き取りを行い、目的をもって支援は行われるような方法を検討します。

関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7						
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7						
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7						
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 ※4つの基本活動とは、1、自立支援と日常生活の充実のための活動 2、創作活動 3、地域交流の機会の提供 4、余暇の提供	2	2		1	・地域交流の機会の提供支援方法を検討中である ・創作活動、地域交流はあまり機会がありません。	避難訓練では、避難所である日進公民館と連携して見学を実施しています。	就労訓練という当施設の性質上、創作活動は少なくなっています。今のところ必要性を感じていませんが、要望が高ければ検討させていただきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				「リクエスト」で自分のしたい活動ができるようになった。	余暇活動やイベントの内容を利用者に決めてもらうように、写真で選択肢を掲示する、選挙を行う等しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			3		今年度は他機関とのサービス担当者会議はありませんでしたが、企業見学、B型等の福祉施設の見学、学校見学は随時行って情報を集めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		3		どっほの支援で壁にぶつかった際は、医療機関や学校と連絡を取り連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7						
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1		2	4			当施設は中高生向けの内容となっている為、そのような機会がございません。
	保護者への説明等	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	1	3		相談員が付いている利用者にはモニタリングの内容を伝えていきます。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1	1	4		当施設は中高生の利用者がメインなのでそのような機会はありませんが、支援に困った際はひまわり療育センターやダウン症協会と連絡を取りアドバイスをもらっています。	
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			4	3			現在そのような機会は設けておりませんが、要望があれば検討します。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1			6		さいたま市北区こども部会に定期的に参加しています。	
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1			こちらからは日々の日報等で活動状況を詳細にお伝えしていますが、保護者の方からご自宅や学校での様子をお聞きする機会は限られてしまいます。		保護者との窓口は管理者であったり、送迎を行わない職員は保護者と接する機会がほとんどないのが現状です。施設の中にも素晴らしい職員がたくさんいるので、参加型の施設見学など交流の場を検討します。
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		2		毎年11月に保護者向け講座を開催しております。	
36		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			1			
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			1			
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7						
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1					
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		3			保護者会等の機会は設けておりませんが、今後前向きに検討していきます。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7							
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7							
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		1					
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7							
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			6	1			そのような機会は現状ございません。七夕まわりの参加等検討していきます。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1				契約時にすべて説明させて頂いております。また当施設事務所に掲示しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		2		業務継続計画（BCP）を作成し事務所内キャビネットにファイリングしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7					全ての利用者の服薬、てんかん、アレルギーを一覧にして事務所に掲示しています。いつでも職員は確認出来るようになっています。※利用者は見れません。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			2		アナフィラキシー症状については、学校に提出している医師の指示書を保管してあります。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	1	1		安全計画を作成して定期的に職員研修を行っています。	この結果を見ると不安に感じている職員がいるように思います。聞き取りを行い研修内容を充実を図ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			2		安全計画については契約時に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7						
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7						
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			2		身体拘束の可能性がある利用者については個別に親御様に許可をとり個別支援計画に記載しています。	塾としてのルールの周知は個別性が高いので行っていませんが、基本的なスタンスは共通なので周知するように致します。
その他	ご意見・感想など	<p>デイロボの今日の出来事は、保護者に出来事を伝えただけなのか、保護者にも声がけを協力してもらうなど共有して取り組みたいのか、その部分の支援はどっぼだけやった方が負担をかけずにすむので静観してほしいのかが分かりにくく、保護者からのコメントでうまくこちらの意図が伝わっていないと感じる事があります。</p> <p>個人情報、利用者さんの進路、卒業生の進路をもっと慎重に取り扱った方がいい（会話の中で出ている事があり気になります）と思うこと、利用者、職員の休みの理由などもプライバシーなので気をつけた方がいいと思う事があります。</p>					<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>利用者さんには、基本的に塾で頑張っているのでご家庭ではゆっくり過ごしてほしいと考えていますが、例外として塾の支援だけでは、うまくいかない場合はご家庭に協力を求める場合があります。文面では伝えにくいことや語弊がある際は、管理者までご相談ください。管理者から保護者へ伝えます。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>アットホームな雰囲気づくりや塾の仲間と切磋琢磨してほしい思いから進路やプライバシーの情報が会話の中に出てしまうことがありました。しかし昨今の個人情報の取り扱いの流れや、学校などの動向を見るとこのままではいけないと思います。職員会議で話し合いルールを再検討致します。</p>		